



流域生態分野

自然本来の森・川・海を含む生態系の成り立ちを明らかにする

森・川・海の生態系は実は密接に関わっています。水や土砂、倒木が川を伝って海に流れ下る。アユやサケ・ワタリガニは海と川を往来する。水生昆虫や両生類は水と陸を往来する。陸上の鳥や哺乳類も水辺を利用する。移動する生物は各々の場所で捕食・寄生などを通して関係しあい、結果として海での出来事が間接的に川や森の生態系に影響を与えたりもする。本分野では森から川・池・湿地そして海に至る流域の自然の成り立ちについて研究を進めています。

Lab. DATA

環境と生物の関係、生物間相互作用、フィールドワーク

宇野裕美 准教授

牧野渡 助教

<https://www.lifesci.tohoku.ac.jp/research/fields/laboratory.html?id=45420>



教員

Interview



准教授
宇野 裕美

2024年4月に立ち上がったばかりの研究室です。森へ川へ海へ、現場に出かけて実際に生き物を見て手に取ってわかることを大切に研究を進めます。フィールドワークは大変なことも多いけど、皆と共に調査をして新しいことを見つけたときの喜びはひとしお。皆さんと共に研究を行うのを楽しみにしています。

topics



時にはものすごい数の遡上魚が海や湖から川に産卵にやってきます。それらの遡上魚は川へ栄養を運んだり、川底を攪乱したり、川の生態系に様々な影響を与えます。